

USSの価値創造モデル

価値創造を支える資源

2021年3月31日現在

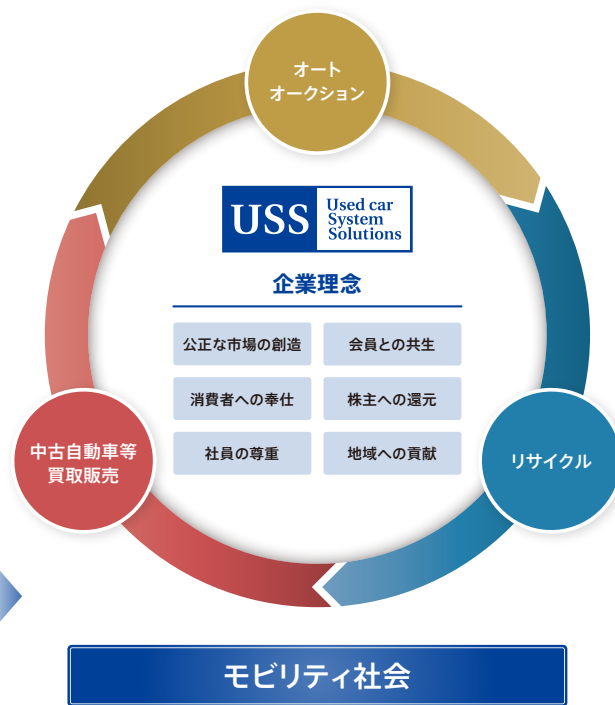
<p>財務基盤</p> <p>資本金 188億円</p> <hr/> <p>総資産 2,106億円</p> <hr/> <p>自己資本比率 81.3%</p>	<p>社会関係基盤</p> <p>会員の圧倒的な信頼 現車会員数 48,058社</p> <hr/> <p>CIS(インターネット)会員数 32,538社</p> <hr/> <p>TV(衛星)会員数 2,197社</p> <hr/> <p>オークション会場数 全国19拠点</p> <hr/> <p>中古車買取専門店 143店舗(直営15店舗、FC128店舗)</p>	<p>知的基盤</p> <p>デジタルノウハウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●膨大なデータをマッチング ●強固なセキュリティ ●DXによる新検査技術の導入 <hr/> <p>自然基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長年使用されるクルマの元となる構成材や施設・物流で使用するエネルギー ●リサイクル原資としての資源
<p>人的基盤</p> <p>クルマのプロフェッショナル 従業員数(男女別) 男性:457名 女性:167名</p> <hr/> <p>車両検査員数 296名</p>		



USSのビジネスモデルとその強み

年間700万台以上が流通し2.5兆円規模と言われる国内中古車流通市場で、当社は約38%の出品台数シェアを持つオートオークション市場のリーディングカンパニーです。革新的かつ「公平・公正」なオークション運営によって築き上げた多くの会員からの信用・信頼が、ブランド力となって、国内最大規模の取扱台数につながっています。最大規模のオークション会場である東京会場や名古屋会場をはじめ全国19拠点を展開。圧倒的な出品台数が会員・利用者の獲得につながり、その結果、高い成約率と成約車両単価を実現し、さらに高品質の車両が集まりやすい好循環が生まれています。また、衛星TVやインターネットを活用して全国どこからでも応札可能な外部落札システムを自社開発し、月額会費による安定収益の確保や、会場落札よりも高い落札手数料単価を実現し、**強固な収益基盤を確立**しています。

USSの強み	
<p>基盤</p> <p>長年にわたる公平・公正への取り組み</p> <hr/> <p>信頼・信用 高いブランドイメージ</p> <hr/> <p>圧倒的シェア</p>	<p>応用</p> <p>オークション業界最大手 全国19拠点を展開</p> <hr/> <p>東京会場・名古屋会場など 大規模会場</p> <hr/> <p>衛星TV・インターネットを通じた 外部落札システム</p>



共通価値の創造

経済的価値創造

売上高
748億円

営業利益
362億円

ROE(自己資本当期純利益率)
2.3%

社会的価値創造

- モビリティへのアクセスと使用価値の向上
- 公正な価格形成による経済活動への貢献
- リサイクルによる循環型社会への貢献
- 従業員のスキル向上
- 新興国の経済発展

オートオークション業界における競争力

2020年市場シェア(暦年)

市場シェア No.1
USS出品台数
267万台

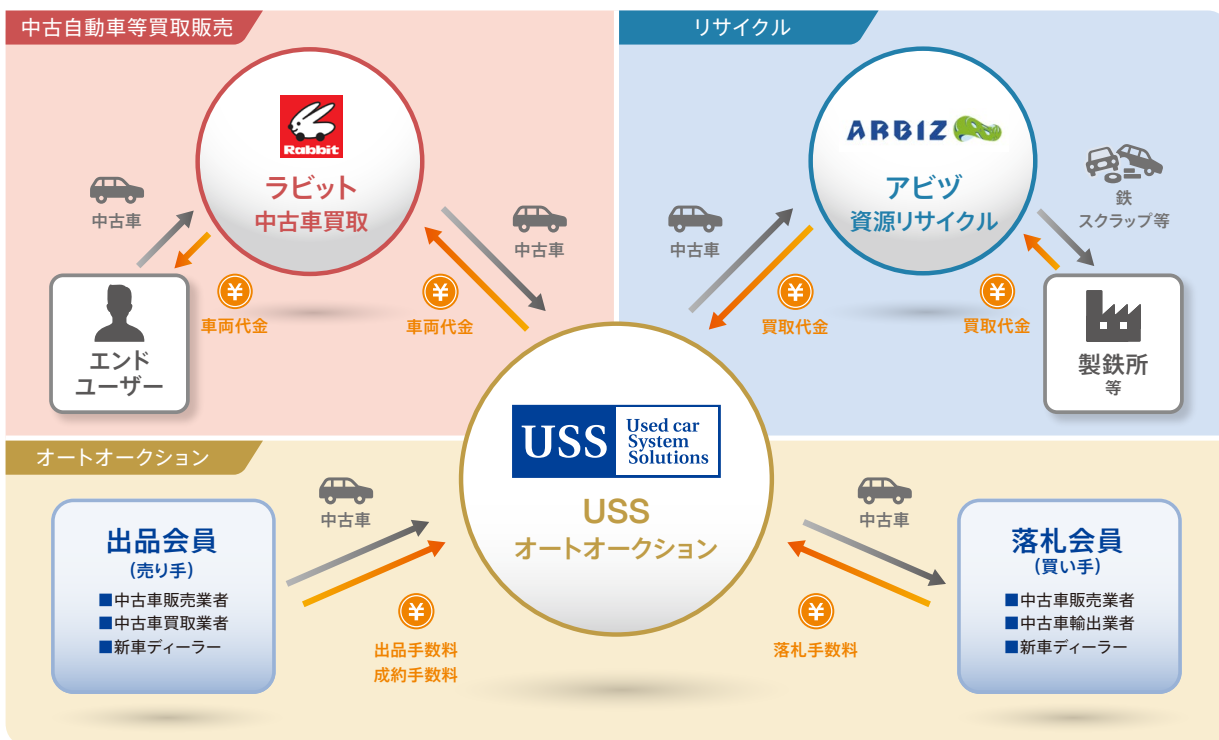
USS 37.7%

全国出品台数
710万台

その他 62.3%

USSは関東・中部・関西の3大市場でそれぞれ約4割の市場シェアを獲得。(地域No.1会場を運営)

[ビジネスモデル]



マテリアリティ(重要課題)



当社では、経営方針「Challenge to Next Stage」を掲げ、中古車流通業界をリードする企業として持続的成長を目指しています。当社の事業は、リサイクルやリユースを核とするエコシステムであり、経済的価値と社会的価値を創造し、持続可能な企業として成長を続けます。

(具体的取り組み)

1	公平・公正で 信頼性の高い オートオークションの実現	  	<ul style="list-style-type: none"> ① 出品車両データの適切な管理……………P31 ② オートオークションにおける不正取引の防止……………P32 ③ 利用しやすいオートオークション会場づくり……………P32
2	先進技術への対応と 国内シェアの拡大 (国内需要の減少への対応)	   	<ul style="list-style-type: none"> ① 先進技術(自動運転、BEV・燃料電池車)への対応……………P5、6 ② デジタルサービスの促進……………P12、18 ③ オートオークション会場の利便性向上……………P32
3	社員の成長と活躍	  	<ul style="list-style-type: none"> ① 社員の人権と多様性の尊重……………P33 ② 公正な評価・処遇……………P33 ③ 教育・研修の充実……………P34 ④ 労働安全衛生……………P34
4	適正な情報管理	 	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員情報の適正管理……………P32
5	コーポレート・ガバナンス	 	<ul style="list-style-type: none"> ① 腐敗の防止……………P26 ② リスク管理(BCP)……………P26
6	環境への配慮	 	<ul style="list-style-type: none"> ① 気候変動問題への対応……………P37 ② 車両輸送効率化によるGHGなど 排出削減・オークション運営における エネルギー消費の効率化……………P37、38 ③ 資源の有効利用と廃棄物管理……………P38